

1 在日留学生の住宅事情に関する基礎的調査研究 －日本人学生との比較検討から－

1-1 はじめに

留学生の抱える問題として、住宅問題が取り上げられることが多い。海外生活を始めるに当たって日本人にとっても住宅問題は大きな問題であり、生活開始後も設備面などで十分な満足がえられず苦勞することも少なくない。日本に住む多くの通常の日本人にとっても、日本での住宅事情が決して良好なものでないことは周知の通りである。

では、在日留学生にとって大きな困難を伴うといわれる日本の住宅事情では、何が在日留学生に固有の問題なのか、その実態を詳細に把握することが、在日留学生の住宅問題解決への対応策を検討するための基礎的作業であると考えられた。

従来 of 在日留学生に関する調査では、住宅事情が家族形態・同居者の有無に大きく依存するにもかかわらず、家族と暮らす既婚留学生、単身もしくは友人と暮らす未婚留学生などのすべてが「留学生」という一つの枠で括られて論じられることが多かった。留学生に固有な問題を把握する第一歩として、「母国を離れて単身で暮らす未婚留学生」、「郷里を離れて単身で暮らす未婚日本人学生」というように条件を揃えての日本人学生との比較検討が不可欠であると考えられるが、こういう視点からの比較研究も皆無に近い。

本研究は、日本人学生との比較を軸として、在日留学生に固有の住宅問題を明らかにするための基礎的データの収集を目的としているが、あわせてこうしたテーマを調査する上での注意点、問題点を整理し、今後の調査に役立てることをも目的としている。

なお、日本人学生の多くが未婚であることから、未婚者でかつ単身で生活する日本人学生と留学生に対象を絞り、これら二群の比較を通して、留学生に固有な問題点を把握できるようにした。